

# 令和6年度 アストロナーサリー小仲台 の自己評価

作成：主任保育士 世古友里

	自己評価の観点	自己評価の視点	評価
I 保育理念	<b>子どもの最善の利益の考慮</b>		B 保育理念において、ご家庭と連携し、一人ひとりの子どもの人権尊重・最善の利益を謳い、個々に合わせた保育を行っている。 未満児では0～1歳児で育児担当制を取り入れ、一人一人を見ることができ環境設定をしている。
	① 子どもの人権の尊重 ② 保育方針・保育目標	○ 子ども一人一人の違いや思いを受け止め、自ら育つ権利を平等に尊重しているか。 ○ 保育方針を基本に、保育所の地域性や、家庭状況などの実態を踏まえ、明日を生きる力と豊かな人間性の基礎を培う目標になっているか。	
II 子どもの発達援助	<b>1 子どもの福祉を推進することに最もふさわしい生活の場</b>		
	① 健康・安全で心地よい生活	○ 子どもの生活リズムを大切にし、健康、安全で情緒の安定した生活が出来つ環境を整えているか。 ○ 子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境を構成し、主体的な生活ができる場になっているか。 ○ 子どもは大人によって生命を守られ、愛され、信頼されることにより、情緒が安定するとともに、人への信頼感、自己肯定感が育つ。そのための環境を整えているか。	B 個々の生活リズムを考慮し日課や個人目標を作成。子どもの成長に合わせ、都度見直しを行った。 B 職員同士相談しながら、子どもが自分で遊びを選べる環境設定を行った。 C 子どもの気持ちを受けとめながら保育にあたったが、保護者より家庭で子どもから困っていることがあったと言われたということもあった。
	<b>2 生活と発達の連続性</b>		
	① 子ども観、発達観の理解と共有 ② 発達過程に応じた保育 ③ 個人差への配慮 ④ 生活の連続性	○ 目指す子ども像及び発達観を理解し、共有しているか。 ○ 子どもの発達や特性を理解し、発達過程に応じた生活の連続性に配慮した保育をしているか。 ○ 子どもの発達の特性とその道筋を十分理解し、一人一人に応じ、見通しを持った保育をしているか。 ○ 保育時間などの違いに配慮するとともに、家庭との連携を視野に入れた保育をしているか。	B MTG等で共通理解を行い、目指す子ども像の共有を行った。 B 個別対応を行うなど、その子にあった保育を行った。 B 児童票や個人票を作成、共有できているが、書き方は要指導。 C 保護者との連携はできたが保育士同士の共有ができていないことがあった。
	<b>3 養護と教育の一体的展開</b>		
	① 主に乳児保育における養護と教育の一体的展開	○ 保育士等が子どもを一個の主体として尊重し、その命を守り、情緒の安定を図りつつ乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられていくように援助しているか。 ○ 一人ひとりの発育及び発達状態や健康状態について適切な判断に基づく保健的な対応をしているか。 ○ 一人ひとりの成育歴に留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わっているか。	B 一人一人の思いを大切に受け止め、日々を心地よく過ごせるよう援助している。遊びを通して様々な体験ができるよう、物的環境、人的環境を整えた。 B 日々の視診を行い、日々の健康状態を主任、担任で共有して把握し、対応を行った。 B 緩やかな担当制を導入し、特定の保育士が応答的に関わっている。

<p style="text-align: center;">II 子 ど も の 発 達 援 助</p>	<p>② 主に2, 3歳児の保育における養護と教育の一体的展開</p> <p>③ 主に3, 4, 5歳児の保育における養護と教育の一体的展開</p> <p>④ 保育の実施に関して留意すべき事項</p> <p><b>4 環境を通して行う保育</b></p> <p>①保育の環境・人的環境</p> <p>・物的環境</p> <p>・空間</p> <p>・自然や社会事象等</p> <p>② 環境の構成・再構成</p>	<p>○ 3つの視点をもとに養護・教育の一体性を意識して保育をしているか。</p> <p>○ 探索活動が十分にできるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、全身を使う遊びなど様々な遊びをとり入れているか。</p> <p>○ 自我の発達を促し自己主張を受け止め、子どもの気持ちに沿った保育をしているか</p> <p>○ 子どもの情緒が安定し、自己を十分に発揮した活動を通して、やり遂げる喜びや自信を持つことが出来るように配慮しているか。</p> <p>○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識して保育しているか。</p> <p>○ 保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るように努めているか。</p> <p>○ 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことが出来る環境が整っているか。</p> <p>○ 子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育所の設備や環境を整え、保育所の護憲的環境や安全の確保などに努めているか。</p> <p>○ 保育室は、あたたかな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるように配慮しているか。</p> <p>○ 命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな信条や思考力の芽生えを培うことができているか。</p> <p>○ 人、モノ、場等の環境が相互に関連しあい、子どもの生活が豊かなものとなるよう計画的に構成し実践、評価したうえで、再構成した環境の中で保育をしているか。</p> <p>○ 子どもの気づき、発想や工夫を大切にしながら、子どもとともに環境の再構成をしているか。</p>	<p>B 3つの視点を大切に月案を作成し、保育に活かした。</p> <p>B 保育の目的によって公園を選んで様々な遊びを行いながら全身運動も取り入れた。</p> <p>ヒヤリハットを昼MTGで共有し、職員全体で事故防止に努めた。</p> <p>B 自我が強く気持ちを抑えられない時には個別対応をするなど、一人一人に寄り添った保育を行った。</p> <p>B 子どもの気持ちを大切にし、行事に向けては自分の好きな事を発表したり、自分たちで考えたものを発表するなど、自信や喜びを感じられるような活動を考へ行った。</p> <p>B 2歳児以上の月案は、10の姿を照らし合わせながら作成し、保育を計画している。</p> <p>A 近隣他園年長児と月1回、公園交流や小学校の校庭遊び・就学先訪問を行った。保育所保育要録を作成送付。</p> <p>A 小規模な為、全職員・全園児が関わる環境となっている。5歳児が未満児のクラスに遊びに行くなどの活動も取り入れた。</p> <p>C 定期的に保育室環境を見直した。棚の上の整理整頓や清掃等保育士の意識不足があるため要指導。</p> <p>B 子ども達の導線を考えた環境設定。室内は手作りのものや子どもの作品であふれ、子どもが安心して遊べる環境でくつろげる場所となっている。</p> <p>B アカハライモリの飼育や、野菜の栽培を行っている。うまく育たなかった経験や次に活かそうという気持ちが育まれた。</p> <p>B 子どもの成長や興味関心に合わせて環境の見直しを行った。以上児では異年齢保育の活動を大切にしつつ、年長児が就学に向けた活動ができるよう適宜計画を行った。</p> <p>B 子どもの発言を大切に、時には臨機応変に計画の変更を行い保育を行った。</p>
<p style="text-align: center;">III 子 育 て 支 援</p>	<p><b>1 家庭との緊密な連携</b></p> <p>① こどもの成長の喜びを共有</p> <p>② 保育内容の説明・応答責任</p>	<p>○ 一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個人面談等を行っているか。</p> <p>○ 保護者に対し、保育所における子どもの様子や日々の保育の意図などを説明し保護者との相互理解を図るよう努めているか。</p> <p>○ 保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思われるものについては、保育に取り込むように努めているか。</p>	<p>B 日々のコミュニケーションを取りつつ、年2回の個人面談を実施。年度末の保護者アンケートで保育士との情報交換や相談について昨年度よりも評価が低くなってしまった。</p> <p>B 保育アプリを活用して毎日のドキュメンテーションの配信、Googleフォトで子供たちの様子がわかる様にしている。</p> <p>B 行事後や年度末に保護者アンケートを実施し、高評価を頂いた。日常ご意見要望等を伺いながら取り入れることに努めている。</p>

<p style="text-align: center;">III</p> <p style="text-align: center;">子育て支援</p>	<p>③ 子育てに関する相談援助</p> <p>④ 保護者への個別支援</p> <p><b>2 地域における子育て支援</b></p> <p>① 保育所機能の開放</p> <p>② 関係機関との連携</p> <p>③ 情報提供</p>	<p>○ 保護者の気持ちを受け止め、相談・援助に当たっては相互の信頼関係を基本に各家庭の実態を踏まえ、保護者自身の主体性、自己決定を尊重しているか。</p> <p>○ 保護者と子どもの状況(障害、発達上の課題、外国籍等を含む)を踏まえ、組織として子どもや家庭を援助する体制づくりを行っているか。</p> <p>○ 保護者に育児不安等が見られる場合には、子どもの最善の利益を重視した個別の支援を行うよう努めているか。</p> <p>○ 子育て家庭への施設及び設備の開放、体験保育など保育所機能の開放をしているか。</p> <p>○ 育児相談や交流の場の提供など、地域の子育て家庭の支援を行っているか。</p> <p>○ 地域の関係機関、団体等との積極的連携及び協働し、子育て支援に関わる地域の人材の積極的な活用を図るよう努めているか。</p> <p>○ 地域における保育に関する情報を常に把握し、子育て支援に関する情報を保護者に適切に提供しているか。</p>	<p>B 相談・援助の際は、保護者自身が自己決定できるように提案、情報提供をしている。</p> <p>B 専門機関との連携を図り、保護者に寄り添いつつ適宜情報提供に努めている。</p> <p>A 保護者の様子を見て面談の時間を作ったり、保護者全体に積極的な声かけを行なった。</p> <p>D 設備環境的に地域の子育て家庭への支援、体験保育等の開放は難しい。</p> <p>B 急な一時預かり希望にも対応した。交流の場の提供として夕涼み会の告知は行ったが来園はなかった。</p> <p>B 子どもの発達に悩んでいる保護者にすこやか親子班への相談を勧めた。</p> <p>B 地域のイベント等も掲示やコドモンを通して情報提供を行っている。</p>
<p style="text-align: center;">IV</p> <p style="text-align: center;">保育を支える組織的基盤</p>	<p><b>1 健康及び安全の実施体制</b></p> <p>① 健康の保持及び増進</p> <p>② 安全・衛生管理</p>	<p>○ 子どもの健康に関する保健計画を作成し、全職員がそのねらいや内容を明確にしながら一人一人の健康保持及び増進に努めているか。</p> <p>○ 登降所時や保育中の子どもの健康管理はマニュアルがあり、子ども一人一人の健康状態並びに発育、発達状態を把握し、健康管理を実施しているか。</p> <p>○ 入所児童の健康診断の結果について保護者や職員に周知するとともに日々の保育に反映させているか。</p> <p>○ 感染症の予防に努め、必要に応じてその情報や対策を保護者に知らせているか。</p> <p>○ アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。</p> <p>○ 疾病の疑いや障害、不適切な養育などが疑われる場合、保護者や嘱託医などの関係機関と連携し、適切な対応をしているか。</p> <p>○ 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具などの衛生管理に努めているか。</p>	<p>B 保健委員が中心となり年間保健計画を作成、周知、実行している。</p> <p>B 千葉県看護師マニュアルに沿った健康管理を実施。朝の視診や保育中の様子を観察チェックボードに記入し共有。</p> <p>B 健康診断、歯科検診の結果は職員と保護者に周知し、日々の保育に反映している。</p> <p>B 手洗いうがい換気加湿を適宜行い、園内感染症はコドモンアプリにて配信。</p> <p>B 生活管理指導表に基づき対応している。</p> <p>B 疾病の疑いには保護者と連絡を取り対応した。アタマジラミが発生した時には他児に蔓延することはなかった。</p> <p>B 湿度管理が難しく、追加で加湿器と除湿器を購入し、適切な室内環境を保てるよう務めた。</p>

IV 保育を支える組織的基盤	③ 災害への備え	○ 衛生面や安全性に配慮し、給食をしているか。	A 配膳時は割烹着・三角巾・マスクの着用。中間温度の計測など衛生面への配慮も行っている。
		○ 子ども及び職員の衛生管理を適切に実施しているか。	B 職員も子供も手洗いうがいを励行、毎日の体調、検温結果を記録している。子供には歯磨きの専門指導を年に一回行う。
		○ 事故発生に備え、施設内外の危険個所の点検や訓練を実施し、安全対策の為の体制が周知、徹底されているか。	B 安全点検表に基づき毎日点検。安全対策の為の体制を玄関に掲示している。月1～2回訓練も実施。
		○ 定期的に防災設備、避難経路の点検を行い、安全環境の設備に努めているか。	A 防災設備は管理会社に置いて定期的に点検。防火管理者が毎日の点検を実施。
	④ 家庭や保健・医療機関との連携	○ 災害発生時に子どもの引き渡しを円滑に行うため、日ごろから保護者と連絡体制や引き渡し方法等について確認しているか。	B 災害発生時の訓練として引き渡し訓練や災害伝言ダイヤルの訓練を行っている。
		○ 地域の関係機関と日常的に連携を図り、必要な協力が得られるよう努めているか。	B 子ども家庭課等、必要な時に連絡を取り、連携している。
		○ 健康で安全な子どもの生活を確立するために保護者と常に密接な連携を図り、家庭での子どもの生活実態把握など情報収集しているか。	B 受け入れ時に視診する。怪我や体調について保護者から情報を伺って必要に応じて個別に対応した。
		○ こどもの健康と安全、食生活や食育に関する活動については保育所から家庭に情報提供をしているか。	B 健康と安全については保健だよりに、食生活は給食だよりに記載している。おすすめのメニューレシピも併せて毎月配信している。
	⑤ 食育の推進	○ 保育所における食育は、健康な生活の基本としての「食を育む力」の育成であることを全職員が理解して進めているか。	B 食育年間計画が作成され、職員にも周知されている。
		○ 食育計画に基づき保育の実践・評価を行い、改善を図っているか。	B 保護者にも食事アンケートを取り状況把握すると共に、食育計画では実践・評価を行っている。給食会議でも改善を図る。
2 職員の資質向上			
① 保育の計画	○ 0歳から6歳まで一貫性を持った保育課程を作成しているか。	B 全体の計画ではすべての月齢に置いて一貫性をもった計画で、年間計画や月案、週案にも保育の方針に基づき見直している。	
	○ 保育の計画が保育の基本方針に基づいているか。	B 年間計画については3か月毎に振り返り、月案は毎月赤字で振り返りを記入している。	
	○ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を見直しているか。	B 毎日のドキュメンテーションや月案、キャリアパス評価制度で自らの保育を振り返りに繋げている。	
② 保育士等の自己評価	○ 保育士等は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めているか。	B 年間指導計画から今年度の保育を振り返り、保護者アンケートの結果も踏まえて年度の振り返りを行っている。	
③ 保育所の自己評価	○ 保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、定期的に保育所の自己評価を行い、改善を図っているか。	B 積極的に外部研修参加の機会を設け、毎月のMTG内で学びを共有した。	
④ 研修	○ 学びあう環境を醸成していくことにより、保育所の活性化を図っているか。	B 学んだ内容をミーティング内で職員同士共有し、保育に活かした。	
	○ 研修の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	C 内部的研修を充実させていたが、全体的な計画につなげるにはもう少し指導が必要。	
	○ 全体的な計画につながる研修をしているか。		

<p><b>3 運営・管理・社会的責任</b></p> <p>① 法令等の遵守</p> <p>② 個人情報の取り扱いと苦情解決の責任</p> <p>③ 施設長の責務</p>	<p>○ 保育所運営管理に必要な法令を理解し、遵守しているか。</p> <p>○ 保育所の子どもの人権が守られているか。</p> <p>○ 個人情報について、適切な取り扱いをしているか。</p> <p>○ 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われ、機能しているか。</p> <p>○ 利用者からの苦情・要望に対して迅速に対応しているか。</p> <p>○ 保育所の保育理念及び基本方針は明文化しているか。</p> <p>○ 保育理念や基本方針は職員、保護者、関係者に周知しているか。</p> <p>○ 保護者や地域に対して、保育を理解してもらうための説明責任を果たしているか。</p> <p>○ 所内研修を充実させるとともに外部研修への参加の機会を確保し、組織として保育の質の向上を図っているか。</p> <p>○ 職務内容や経験に合わせた人材育成をしているか。</p> <p>○ 職員のメンタルケアを日ごろから意識して行っているか。</p>	<p>B 保育所運営に必要な全ての法令を理解し遵守するため、役員に学識経験を迎え入れた体制としている。子供の人権を守ることについては、経営理念でもあるが、遵守出来ていると見ている。個人情報については保護者への入園時書類説明により、機密保護と情報連携強化の両面で取り扱いの了承を得ている。苦情解決制度については、入園のしおりに記載し、玄関にも掲示している。利用者からの苦情・要望についてはすぐに園内で共有し対応を行った。</p> <p>B 入園のしおりや園パンフレットに記載。</p> <p>B 入園のしおりを玄関に置いてあり、いつでも閲覧できる。</p> <p>B 保護者に対してはその都度説明を行っている。隣家の美容室には必要に応じて保育の説明を行っている。</p> <p>B 内部研修を毎月取り入れ、保育の質の向上に努めている。外部研修に関してもある程度平等に受けられるよう参加の機会を設けている。</p> <p>B 経験年数に合わせた職務内容にしている。必要に応じて先輩職員を指導係としてつけている。</p> <p>B 日ごろから声を掛けるように努めた。</p>
<p>&lt;評価の基準&gt;</p> <p>A:大変良い    B:良い    C:一部検討を要する    D:改善を要する</p>		

I 保育理念	A…0	B…1	C…0	D…0
II 子どもの発達援助	A…2	B…17	C…3	D…0
III 子育て支援	A…1	B…8	C…0	D…1
IV 保育を支える組織的基盤	A…2	B…28	C…1	D…0
<b>合計値</b>	<b>A…5</b>	<b>B…54</b>	<b>C…4</b>	<b>D…1</b>